

(一級河川 金勝川)

# 要 望 書



金勝川下流平地化事業周辺（上空より）

平成24年10月

金勝川下流平地化事業促進協議会

## 要 望 書

滋賀県におかれましては、栗東市民の生活基盤の根源をなす治水対策として、金勝川平地化事業に格段のご高配を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、金勝川は古くより川沿いに広がる緑豊かな穀倉地帯の田園用水として、沿川地域住民の生活に深く関わりとともに、我々はその恩恵を享受して参りました。

しかしその一方で、河川下流部では河床が平地部より高い天井川となっているため、過去においては昭和28年の台風13号による左岸堤防の決壊をはじめ、大雨による出水・土砂流出等でこれまで幾度となく沿川住民に大きな被害と恐怖を与えて参りました。

また、天井川という特異な形態から、平地部河川からの放流が来ず、降雨時の増水による農用地等の冠水被害がたびたび発生しております。

こうした状況の中、国施行による平成14年通水の草津川放水路事業に引き続き、滋賀県をはじめ関係機関のご努力により、計画延長L=1,800mのうち、高橋の仮設橋を設置し高橋撤去をするとともに、高橋上流までの河道掘削を進めて頂きました。

しかしながら、残る上流部の未着工区間は、いまだ天井川で蛇行や大きな曲線区間が存在する上、護岸の老朽化も激しく、平成24年6月の集中豪雨では右岸の護岸ブロックが壊れ、沿線住民は堤防決壊の不安が募り、ひとたび決壊となれば、市街地等に多大な被害を及ぼすことは必至であります。

改めてお願いするまでもなく、県施行による金勝川平地化事業は沿川地域に居住する住民の生命・財産を洪水被害から守る治水対策として取り組まなければならない重要な事業であり、強力な事業促進を、沿川住民は等しく切望いたしております。

また、密接に関係する県道六地蔵草津線バイパス、県道川辺御園線（都市計画道路下笠下砥山線）の整備についても、平地化事業と連携した事業促進をお願い致します。

県におかれましては、現下の厳しい経済・財政状況の中において、金勝川平地化事業を実施していただいているところでございますが、事業の早期完成に向け次の事項につきまして、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

## 要 望 事 項

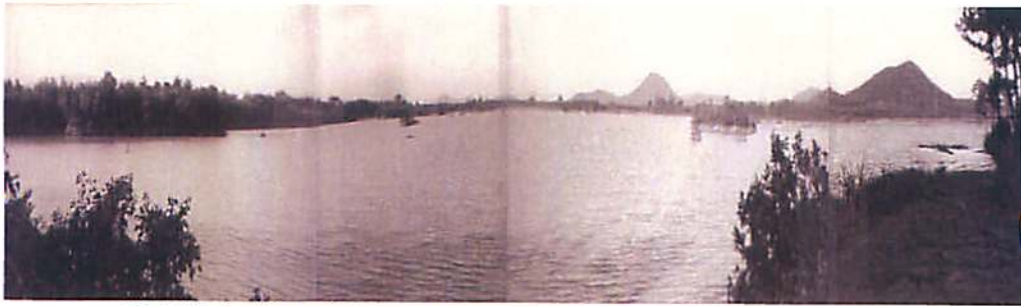
### 1. 金勝川平地化事業（草津川合流部～灰塚橋上流部間）の促進について

金勝川改修計画区間(L=1,800m)の平地化完成に向け、迅速な事業促進をいただきますとともに、一日も早い事業完成をお願い申し上げます。



金勝川の現況（目川地先 天井川風景）

### 金勝川災害状況



破堤浸水状況（昭和28年：栗東市岡・目川地先）



平常時状況（平成10年：栗東市岡・目川地先）



## 2. 金勝川平地化事業と連携した県道六地蔵草津線バイパス及び 県道川辺御園線(都市計画道路下笠下砥山線)の道路整備について

岡地先から川辺地先までの県道六地蔵草津線は、沿線家屋の軒下を通行するような狭小幅員であり、日々の交通量も多く、自転車・歩行者は大変危険な状況であり、また慢性的な渋滞も発生しています。

そのバイパス道路となる県道六地蔵草津線バイパスや県道川辺御園線(都市計画道路下笠下砥山線)につきましても、金勝川平地化事業と連携した事業実施を一層推進していただきますようお願い申し上げます。



県道六地蔵草津線・県道川辺御園線(栗東市坊袋付近)

### 3. 護岸の早期整備について

近年、観測記録を上回る集中豪雨の多発により、今年度は一部右岸の護岸ブロックが壊れ、周辺住民は日々堤防決壊に脅えて生活されています。

道路橋部の永久構造物による護岸整備や、老朽護岸の補強等も併せて整備頂きますよう格段のご配慮をお願い申し上げます。

上流部老朽護岸



平成24年10月

金勝川下流平地化事業促進協議会

会長 奥村 実

